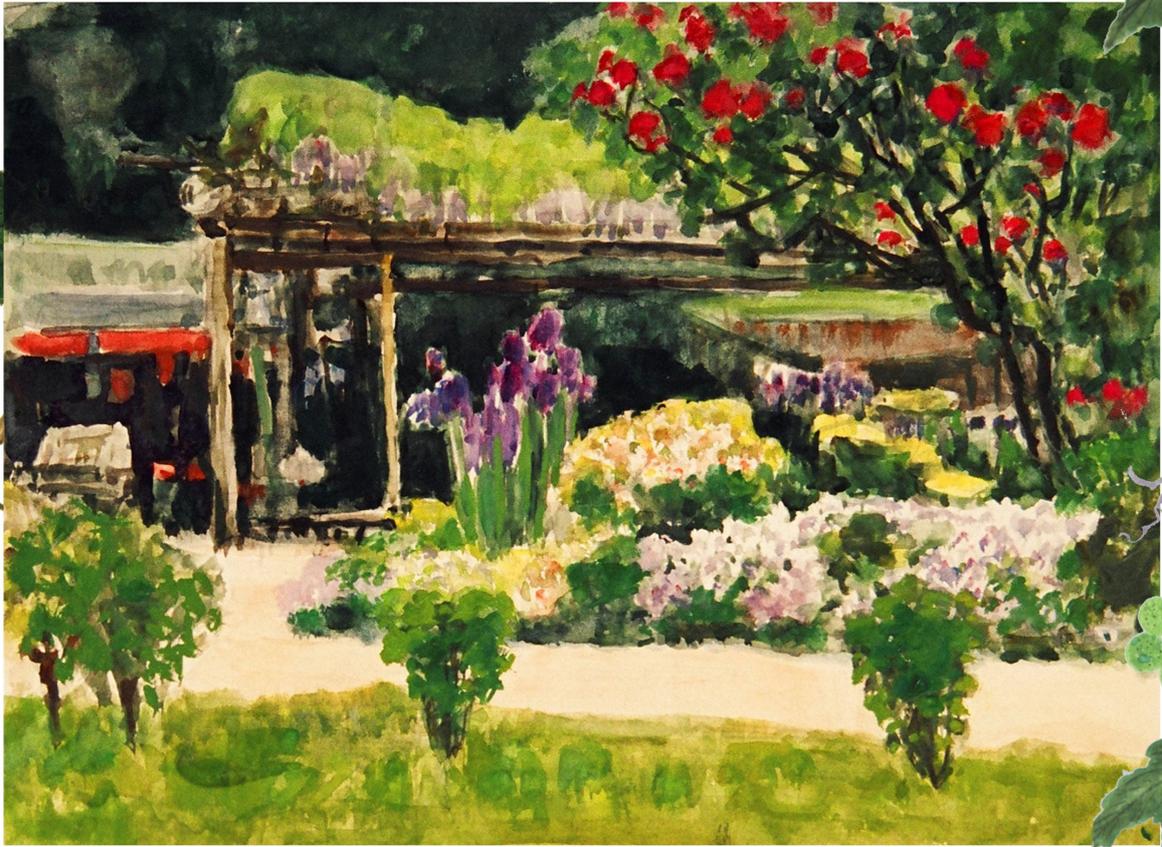


春や植物をテーマに館収蔵品より水彩画・植物標本など約70点を展示！



第120回収蔵品展 Elōra

— フローラ —

2022.4.5 TUE — 5.1 SUN

開館時間 | 午前9時～午後7時（土日は午後5時閉館）

休館日 | 毎週月曜日、4月29日（金・祝）

入館料 | 無料 会場 | 庄内町内藤秀因水彩画記念館

画像 左上：太田萬里《フユイチゴ》、中央上：内藤秀因《須賀川牡丹園藤棚・巨木牡丹》、右上：太田萬里《ノブドウ》、左中：加藤元助《ユキツバキ》、左下：加藤元助《タチツボスミレ》、右下：太田萬里《ワレモコウ》

第120回収藏品展

Elōna

— フローラ —

春や植物をテーマに3種類の収藏品約70点をご紹介します。リニューアル前最後の収藏品展をお見逃しなく！

水彩画 / 内藤秀因



《飛鳥山の桜》

内藤秀因ないとうしゅういんが好んで描いた梅・桜・牡丹を中心に、草花や樹木を主題または風景の一部とした作品約45点をご紹介します。光を宿しているような花びらの表現はもちろん、力強くうねる古木の幹の表現も見どころです。どのような花が作品に取り入れられているかにもご注目いただきながら、春の記念館の散策をお楽しみください。

新収藏品 / 太田萬里



《スマレサイシン》

太田萬里氏おおたまさと (1929～) は、日本画家太田義一おおたぎいち (狩川出身) の三男であり、日本画家、山野草研究家、草木染研究家として多彩な活動をしています。作品のテーマは野山や川辺の風景や四季の草木、そこを住みかとする小さな生き物たちの姿で、いずれも山野草に関する知識と確かな観察眼、そして優れた画力を合わせて生み出された、太田氏ならではの表現といえます。今回は、令和3 (2021) 年度の作品展を機に当館にご寄贈いただいた色紙と短冊12点をご紹介します。繊細な筆さばきに、対象への愛情や、遊び心が加わった作品の数々をご覧ください。

植物標本 / 加藤元助



《ムシャリンドウ》

加藤元助かとうもとすけ (1885～1976) は東田川郡廻館村まわたて (現在の庄内町廻館まわたて) 出身の教育者・植物学者です。山形県の植物学研究的パイオニア的存在であり、「ウエツアザミ」「ホカリヒコグサ」など新種の植物の採集等をおこなったほか、県内の農学校長を歴任し、後進の育成にも尽力しました。当館で収蔵する植物標本は、1957年に余目町立図書館 (現在の庄内町立図書館) が加藤元助に依頼をおこない、作製されたものです。本展では、収蔵する標本約1,200点のなかから、加藤元助と縁の深い植物、県や国により絶滅危惧種として指定されている植物、展示中の絵画に関連する植物など14点を選び、をご紹介します。

今後の開館予定

次回開催

「つちだよしはる絵本原画展 Favorite Books」
2022年5月14日(土)～6月19日(日)

休館期間

2022年6月20日(月)～2023年10月末 ※予定

リニューアルオープン

2023年11月※予定

感染症対策実施中



来館者確認



検温



マスクの着用



手指消毒

風邪・発熱症状等が認められた場合は来館をお控えください。
なお、感染状況により開館時間等が変更となる場合がございます。
最新情報は随時当館ホームページにてご案内いたします。ご確認の
うえご来館ください。ご協力をお願いいたします。

※スケジュールは変更となる場合がございます。予めご了承ください。

庄内町
Shonai Town Shuin Naito Museum of Watercolor
内藤秀因水彩画記念館

山形県東田川郡庄内町余目字三人谷地58-1
TEL 0234-43-3039
<https://www.town.shonai.lg.jp/naito/>